

みなさんへのメッセージ

みなさんは、この本を読んでどのようなことを感じましたか？
「女の子だからこうしなさい」とか「男の子はこうですよ」というように、
性別だけでそれぞれの役割を決めて押しつけたり、
向き不向きを決めつけたりしないで、
みんなが「自分らしく」生きることが大切です。

私たちは外見や得意なこと、好みなどが皆違ってきます。
ところがある種の「ちがい」（特に身体や性に関する「ちがい」）のある人は、
その「ちがい」を理由に差別されたり、偏見をもたれることがあります。
しかし、こうした様々な「ちがい」も「個性」と考え、
お互いを認め、尊重することが必要です。

たった一人しかいない大切なあなた。
その「いのち」はかけがえのないものです。
そして、周りの人の「いのち」も同じです。

一人ひとりが夢や希望をもち、
その可能性をどんどん広げていくことが大切です。
ここで感じたことを生かして、
男女共同参画社会の実現に取り組みましょう。